

事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年2月27日

事業所名 学童クラブそよ風

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1	1	法令としてのスペースは適切であるが、もっと広いスペースを確保できればと考えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	7	3	利用者20名ほどにスタッフ10名ほどで対応しています。働きやすい環境を整備するためにもスタッフを募集しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			バリアフリーを考慮していますが、まだ車椅子で一人で自由に移動するのは難しい場所があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	3		職員会議で議論していますが、さらにPDCAサイクルの意識を向上させます。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	3		評価を受け改善していますが、まだ改善が不十分な部分もあります。詳しくは保護者評価にてコメントさせていただきます。
	6	この自己評価票の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	7	3	自己評価については今年度から公開させていただきました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		10	1	第三者評価はしておりません。今後の課題としたいです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	6		研修は、毎月の職員会議も含めて行っておりませんが、評価にできていますが、まだ不十分であります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		職員会議で職員間で、面談で保護者とアセスメントを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	1	日報等で子どもたちの日々の記録をつけていますが、標準化されたツールはありません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1		職員会議でプログラムについて話合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4		固定化の是非について意見は分かれますが、季節のイベントなど変化は入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	3		きめこまやかな支援を行っていきたいと思います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	3	1	常勤職員間での話し合いはありますが、必ず行われるといった常設化されたものではありません。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		8	3	常勤職員が支援を振り返り、それを職員会議等で共有する形をとっています。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	4		日々の支援を記録していますが、どちらとも言えないという評価がなくなるように徹底していきたいと思います。

	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	4		職員会議等でモニタリングを行っていますが、どちらとも言えない評価がなくなるように計画を意識した会議を徹底したいと思います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	9		ガイドラインについての周知をしっかりと行いたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	7		サービス担当者会議についての周知徹底を行います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		さらに学校との連携を密にしたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	8	1	医療的ケアが必要な児童がいた場合の対応について話し合っておきたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	2		引き継ぎは行っていますが、評価が向上するようにしっかりと引き継ぎを行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	9		支援内容の提供はしていますが、してることへの周知を行っていきます。
	25	児童発達支援センター、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	8	1	児童発達支援センター おひさま園・なのはな園との関係をさらに強固なものとしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	7	全くないのが現状です。今後の課題としていきます。
	27	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	4	3	管理者が自立支援協議会子ども部会の会員であり、福祉のまちづくり条例にも参加しています。さらに地域福祉に参画していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	1	さらに保護者との共通理解を持って支援にあたりたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	7	1	面談や保護者会などで支援について話し合いますがプログラム化は課題であります。
関係機関や保護者との連携	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	7		利用開始時、変更時により丁寧な説明を行うとともに職員にも周知徹底していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	4		面談でどんな話をしているのか、しっかりと職員間で話し合いたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	6		保護者会を開いています。有田圏域の保護者の集い「ちいさなたねの会」を支援していきます。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3		職員の評価が向上し、適切に対応していると全職員が言えるように苦情等の受付の仕組みをより発信しやすい環境を整備していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		月1回のおたよりやHP等で活動を報告させていただいています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	3		どちらとも言えないという職員がなくなるように個人情報の取り扱いを常に注意喚起していきます。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		
保護者への説明責任等	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	8	全くしていないのが現状です。今後の課題としていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	6	1	訓練などを通してマニュアルの周知徹底を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5	2	周知徹底のために虐待についての研修を年1回ではなく年2回以上行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	7	2	身体拘束についての組織的理解を深めるためにも研修を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	4	6	1	保護者の聞き取りのみで医師の指示書にもとづく対応はしていません。保護者の方と話し合いたいと思います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	7	2	ヒヤリハットが、より書きやすい環境になるように周知徹底したいと思います。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。